



分散登校・オンライン視聴 ありがとうございます

1月31日（月）から2月7日（月）まで、分散登校とオンライン授業視聴を行わせていただきました。各ご家庭で、ご理解とご協力をいただきありがとうございました。オンライン視聴に慣れないところもあったと思いますが、生徒たちはおおむね視聴できたようでした。オンライン視聴に関してお困りのことがございましたら、担任を通じてご連絡いただければと思います。

期間中の学習については、実力・期末テストを控えていたため5教科を集中的に行わせていただきました。技能教科については、1・2年生は8日（火）に特別時間割で実施させていただき、9日（水）以降も授業交換を行うなどで学習内容を終了する見込みとなっています。3年生についても、全ての教科の学習を予定通り終える見込みとなっています。

なお、中野市教育委員会の指導によりオンライン授業視聴した日（家庭学習の日。各グループ3日）については「出席停止」（校長が出席しなくてもよいと認めた日）扱いとなります。登校した日については、通常の出席として扱いますので、ご了承ください。

長野県が「まん延防止等重点措置」を延長したことを受け、中野市教育委員会より2月7日付で「まん延防止等重点措置における中野市立小中学校の対応期間延長について」の通知が保護者の皆様に配付されました。本校では、2月4日（7日）付で配付した家庭通知と連絡メールでお知らせした通り、2月18日（金）までの授業を4時間または5時間授業（給食清掃あり）で全校通常登校を行います。これまでと同様に感染防止対策を徹底して、生徒が安心して学校生活を送ることができ、3年生が無事に受検することができるように努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

保健室より（1.2年：2/8朝/モート放送 3年：2/9学活）*抜粋

自分や周りの人たちを守るために。みんなでしっかり取り組みましょう！

- | | |
|----------------------|--------------------|
| ★検温・健康チェックをしっかりとやろう | ★身体的距離を守ろう |
| ★ハンカチ・ティッシュ・水筒を持参しよう | ★黙食を守ろう |
| ★マスクをしっかりと着用しよう | ★歯磨きは黙って口を手で隠してやろう |
| ★手洗い・消毒・うがいをしっかりとやろう | ★栄養・睡眠・運動に心がけよう |

【お知らせ】

○2/3(木)に実施できなかった**2学年PTA・学級PTA(1組・4組のみ)**は、**3月10日(木)16時から**行います。詳細については、後日2学年だよりでお知らせします。

○令和4年度校外生活部長決めは、**3月10日(木)**に行います。

★令和3年度の**資源回収**の収益は、**72,090円(2回分)**でした。ご協力ありがとうございました。

三学期始業式校長講話

「道は自分でつくる」

明けましておめでとうございます。今日から48日間の3学期が始まります。皆さんは、新しい年を迎えるにあたり新たな気持ちで今日の日を迎えたと思います。①夢や目標をもっているか②自分で決める。③失敗を歓迎する。これは、昨年の秋に2年生で行ったキャリア教育講演会でお招きした井戸聞多さんの言葉です。井戸さんのお話をもとにこのことを考えてみたいと思います。

① 夢や目標をもっていますか？

勉強や部活動、生徒会のことなどきつと皆さんは胸に秘めた決意があることでしょうか。このことを頑張りたいという意志、志です。自分づくりやこんな人間になりたい！というのも素敵です。夢や目標、打ち込むことがなかなか見つからない人は、何か新しいことにチャレンジしてみるのもいいかもしれません。

② 自分で決める

誰か他の人に決めてもらうのではなく自分で決める。井戸さんはこのとき、他の人の意見もとても重要だと言っていました。周りの友だちや大人の人の考えも聞いたうえで、自分で考え自分で決める。勉強でも係の仕事でもやらされてやるのはいやになります。3年生にとっては進路選択もそうですね。

③ 失敗を歓迎する

「失敗を歓迎する」ってどういうことなんでしょうか？あまり聞いたことがありませんね。“失敗”にはマイナスのイメージがあり、落ち込んだり挫折したりすることもあるかと思います。失敗を歓迎するというのは、失敗をよるこんで迎える（受け入れる）ことの意味かと思います。

失敗は積極的にしていきたい。なぜなら、それは成功と同じくらい貴重だからだ。（トーマス・エジソン）

失敗したということは何かにチャレンジしたということの証です。チャレンジする、それだけで価値があります。そして失敗から学ぶ。プラスにとらえる。自分の成長につなげる。失敗を恐れずどんどんチャレンジしようということじゃないかと思います。さらに、自分のチャレンジ（失敗）を歓迎できる人は他人のチャレンジ（失敗）にも寛容になれるということです。他の人の失敗を広い心で許せるということです。

そして**失敗のないこと、チャレンジしたことがないことは、未来の自分への最大のリスク**だとおっしゃっていました。これはどういう意味なのか、教室で考えてみて下さい。

いろんなことに何度もチャレンジして、失敗して、人として成長していくのかもしれない。お互いのチャレンジにエールを贈りたい、そう思います。

この3つは、皆さんのよく知っているアスリートの姿からも伺い知ることができます。

- ① 大谷翔平選手が高校生のときに作っていた目標達成シートが参考になりますね。コントロールやボールのスピードなど技術面のことも記していますが、それだけでなくあいさつや思いやり、感謝など人間性やメンタル面でもこうなりたい！と記されています。
- ② 羽生結弦選手の4回転半ジャンプ。この12月の全日本選手権で初めてプログラムに組み込みましたが惜しくも認定されませんでした。これまで何千回、挑んだと新聞にありました。多くの失敗を経て成功に近づいていくんだと思います。
- ③ 青山学院大学の駅伝チーム。選手自身の自律。強いチームは指示待ちしない。自ら考え行動する。監督がいなくても実行する。そんなことを原監督のインタビューから感じました。

授業中教室を回っていくと学び合う姿や「ナイストライ」「ナイスエラー」と言いながら、トライしたことを認め合い、友だちが間違えても笑顔で学習に打ち込む姿を目にします。

最後に相田みつをさんの詩を紹介します。「道」という詩です。

道はじぶんでつくる

道は自分でひらく

人のつくったものは

じぶんの道にはならない

みつを

